平成 28 年度

第５回 宍粟学講座

宍粟郡柏野庄伝来の《三十六歌仙額》について

平成 28 年
12 月 10 日（土）
午後２時～午後３時半

会　場　　宍粟防災センター５階ホール
〒671-2576　兵庫県宍粟市山崎町鹿沢 65-3

講　師　　**山下　真由美 さん**
鳥取県立博物館主任学芸員

○「三十六歌仙額」倉吉市指定文化財（美術工芸品）

鳥取県倉吉市の小鴨神社所蔵。室町時代の作で、和歌の名人三十六歌仙を６面の絵馬に描いた歌仙額絵です（現存するのは４面）。

裏書(額の裏側)に「幡州完粟郡柏野庄 八幡宮三十六員歌人 願主宇野豊後守源村直 天文六年」の記述があり、中世宍粟の領主宇野氏の一族から山崎八幡神社へ奉納されたことがわかります。

この額は、江戸時代の寛永９年(1632)、初代宍粟藩主池田輝澄から甥の鳥取藩主池田光仲へ送られたと推測されており、当時の宍粟と鳥取のつながりを知るうえで貴重な史料です。

会場周辺図

宍粟市歴史資料館では、平成 28 年度の宍粟学講座を開講します。
ふるさと「宍粟」の歴史や文化について楽しく学ぶ講座です。
皆様の参加をお待ちしております。

本講座は『しそう学びパスポート』対象講座です

受講方法：当日受付（申込み不要）
受 講 料：無料

【問合わせ先】
宍粟市教育部 社会教育文化財課
〒671-2593　宍粟市山崎町中広瀬 133 番地６
TEL：0790-63-3117　　FAX：0790-63-1063